

質疑・要望	内 容
質問	一般会計総額に相当するくらいの市債残高（臨時財政対策債除く）がある。平成18年以前はもっと少なかったが、今後市債残高が平成18年以前のレベルに戻る見込みはあるのか。
回答	北陸新幹線福井開業に向けた福井駅周辺の事業、森田北東部の土地区画整理事業などがあり、市債残高が増えてきたが、これらの事業は終わりに近づいており、今後市債残高は減っていくと思われる。また、金利の低い借換債への切り替えも行っている。ただし、今後も文化会館の建設などの大きな事業も控えているので、議会としても、市債の動向には注意を払っていく。
質問	小型除雪機を町内で買う場合、どのくらいの助成金が出るのか。
回答	小型除雪機の補助については、まだ具体的に決まっていない。現在検討中である。
質問	除雪対策費に30億円ほどかかったとのことだが、これも市の借金になるのか。
回答	今年3月、国からの特別交付税が昨年度より15億円ほど多く入った。除雪費用として国に要望していた分などが増額されたものと思われる。
質問	一般会計の扶助費が年々増えている。福井市は子どもが増加傾向にあるのか。また、女性もどんどん県外に出て行っている中で、子育て支援サービス、障がい者支援サービスの金額が増えている。どのような支援を行うために増えているのか。
回答	新生児は減少傾向にあるが、本市の新生児は年間2,300人前後で推移している。子育て支援サービスでは、今年4月から子ども医療費の窓口無料化を実施している。また、子育て支援の費用より高齢者支援の費用、生活保護費が増えていることが、扶助費増加の大きな要因となっている。
調査結果	障がい者に対しては、地域で安心して日常生活や社会生活を営むことができるよう、それぞれの状況に応じた介護や訓練などの必要な障がい福祉サービスを提供している。障がい者手帳所持者の増加、サービス事業所の増加、サービスの充実に伴い、給付費（扶助費）が増えている。
質問	少子化による学校の統廃合について、大野市では統廃合の計画が進んでいるが、福井県も少子化の傾向があるだろうし、教育民生委員会で審議していく必要があると思う。また、2学期制が本当にいいのか。学校現場にとってはむしろ苛酷になっており、決して良くなっているとは思わない。もう一度3学期制に戻すほうが効果的ではないか。
回答	教育委員会から、議会に対して学校の統廃合についての具体的な話があったことは一度もない。教育長の議会答弁では、少子化が進む中で、学校規模の適正化について検討する必要性は出てくるだろうとの話はあったが、具体的な名前をあげた話は聞いていない。また、2学期制については、福井市は県内でも先駆けて始めたが、今のところ大きな不満の声は聞いていない。2学期制だと学期初め、学期末の行事が減るなどメリットもあるが、あまり変わらない点もある。今後、元に戻すのは難しいと思うが、検証は必要であり、いろいろなご意見を伺っていきたい。

質疑・要望	内 容
意見要望	福井国体や北陸新幹線福井開業に向けて足羽山の魅力向上を図るとのことだが、我々としては地元が大事である。福井市街地も大事だが、鷹巣地区は越前加賀海岸国定公園の一部になっており、そのPRにもお金をかけてほしい。また、鷹巣、川西地区の道路の拡幅などを毎年計画的に行ってほしい。
現状説明	海岸線の観光については、観光資源を磨き上げるため、越前海岸体験・体感観光推進事業を予算付けしており、今年は例年より増額し7,922千円を計上している。観光の推進、道路の拡幅については、議会としても一生懸命取り組んでいく。決して福井市中心部だけということではない。予算特別委員会等でも議員が発言しているし、国への陳情も行っている。扶助費の増加や国体、新幹線、災害対応などで予算的に厳しい面もあるが、頑張っていきたい。 なお、福井市では近年観光を重視しており、足羽山を含めた福井駅周辺、一乗谷朝倉氏遺跡、越前海岸には特に力を入れている。
意見要望	土地改良した場所に家を建てる場合、農地転用の許可がなかなか下りない。年に2回くらいしか審査会がないが、申請があればすぐに審査を行い、スムーズに許可が下りるようにしてほしい。 許可がなかなか下りないと、若い人が市外に家を建て地域から出て行ってしまい、ゆくゆくは人口減少による学校の統廃合や空き家の問題が起こり、限界集落に近い状態になってしまう。
現状説明	議会としても切実な問題と認識しており、理事者に何度も要望している。農家の子どもが実家の近くに新しい家を建てられないということも起こっている。
質問	今年は海岸の砂が特に多く、漁船の出入りに支障をきたしている。これは県の仕事か市の仕事か。4、5年前に、県から必ず解決しますと言われたが、砂は増える一方である。鷹巣は避難港だが船が入れない。また、ウニは採れず、ワカメもつやがない。このことをどう考えるか。
回答	県の担当であるが、こちらからも県に伝える。
意見要望	政務活動費の中で大きなウェイトを占めているものに、議員や会派が作成している広報紙があるが、どのようなものをを出しているのか分からない。議会に傍聴に来た人が見ることができるようにしてほしい。議会の透明性という観点からもお願いしたい。
調査結果	市役所1階の情報発信コーナーにある政務活動費の書類の中に含まれており、閲覧が可能。

「調査結果」とは、その場で回答できなかった質問について、議会報告会終了後、市の担当所属で調査した結果です。